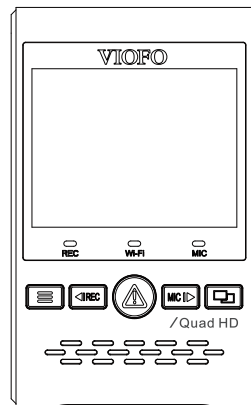


VIOFO®

A129 Plus Duo

取付説明書



保証サービス



12ヶ月保証



supportjp@viofo.com



<https://www.facebook.com/viofo.japan>



+86 755 8526 8909 (CN)



営業時間：月~金曜日：9：00~18：00(GMT+8)

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用前に本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
読み終わったらいつでも見られるところに大切に保管してください。

著作権は、Viofo Ltdに帰属します

目次

製品の概要	2
梱包内容	
別売りオプション	
各部の名称	
記録メディアをセットする	
LEDインジケータ	
ボタン機能の説明	
取り付け方法	9
本機を取付ける	
リアカメラを取り付ける	
電源ケーブルとリアケーブルの接続	
操作	14
電源オン/オフ	
ループ録画	
衝撃録画	
ビデオ再生	
動体検知	
コンピュータに接続する	
テレビでビデオを再生する	
PIPモード	
ファームウェアを更新	
システム設定	19
スマートフォンとのプレビューと操作	23
Bluetoothリモコン	24
注意	25

付属品を確認する

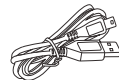
■ 梱包内容



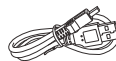
本機



USBカーチャージャー



USB電源ケーブル(4m)



USBケーブル



3M両面テープ



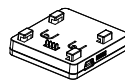
クリップ



内装はがし



リアカメラ



GPSユニット



リアカメラケーブル

*注意：このUSBケーブルはファイルの転送およびファームウェアの更新にのみ使用できます。給電ケーブルとしてはお使いいただけません。

■ 別売りオプション



Bluetoothリモコン



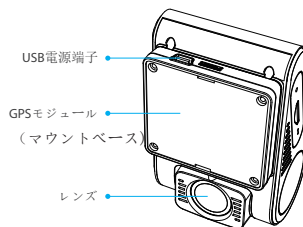
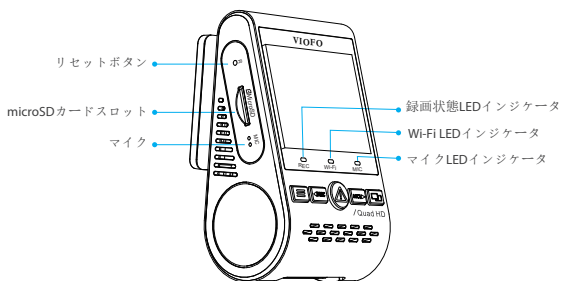
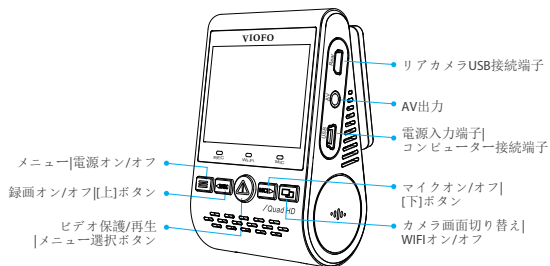
偏光フィルター



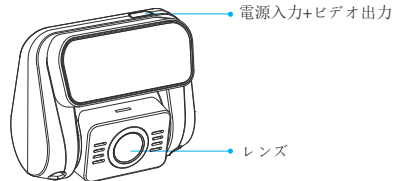
HK3 駐車監視ケーブル

■ 各部の名称

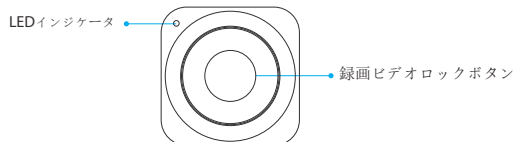
1) フロントカメラ



2) リアカメラ



3) Bluetoothリモートコントロール (オプション)

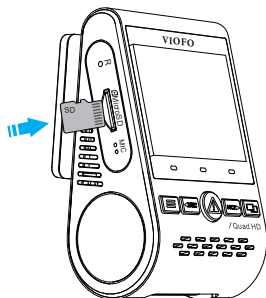


■ 記録メディアをセットする

microSDカードの挿入

microSDカードを挿入する際は、本機の電源が切れていること（全てのLEDが消灯）を確認して行ってください。

microSDカードの金色の端子が本機のモニター側に向くようにし、カチッと音がするまで挿入してください。



microSDカードの取外し

本機の電源が切れていること（全てのLEDが消灯）を確認して行ってください。microSDカードを押し込むと、カードをスロットから取り外すことができます。

注意:

- 容量の大きいmicroSDカードが必要な場合は別途買い求めください。本機にはUHS-U1 / U3以上のmicroSD（最大256GBまで対応）カードの使用をおすすめします。
- 64GB、128GB、256GBマイクロSDカードは、コンピューターまたはカメラでFAT32ファイルシステムでフォーマットする必要があります。
- 高い耐久性と信頼性を誇るトップMLC NANDフラッシュメモリを採用した、VIOFOブランドのmicroSDカードの使用をおすすめします。

microSDカードのフォーマット

- microSDカードを使用する前には必ず「FAT32」形式でフォーマットしてください。メニューボタンからシステム設定 -> フォーマットオプションを選択してください。
- microSDカードは定期的にフォーマットを行ってください。重要なファイルはフォーマットの前に必ずバックアップしてください。

■ LEDインジケータ

LED	LED状態	操作
REC	赤く点灯	録画中
	赤く点滅	スタンバイ・ファームウェアを更新
Wi-Fi	赤く点灯	Wi-Fiオン
	オフ	Wi-Fiオフ
MIC	赤く点灯	マイクオン
	オフ	マイクオフ

■ ボタン機能の説明

モード	ボタン	操作
スタンバイ モード (録画停止)		メニュー表示
		録画を開始
		プレイリスト表示
		マイクのオン/オフ
		Wi-Fiオン（長押し）

モード	ボタン	操作
録画モード		スナップショットを撮影します。 <small>注意: メニュー設定する前に録画をオフしてください。</small>
		録画を停止
		録画中ファイルをロックする
		マイクのオン/オフ
		画面表示の切り替え

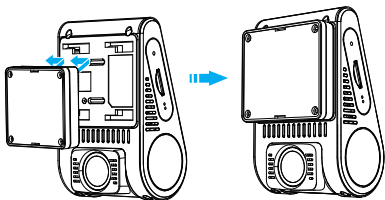
モード	ボタン	操作
再生ビデオ モード		前のデータへ戻る/再生を停止する
		[上]ボタン/再生速度の変更/ビデオの削除
		現在のビデオを選択/再生/一時停止
		次のファイルを選択/再生速度を変更/ 現在のビデオをロック/現在ビデオの ロックを解除
		利用不可

モード	ボタン	操作
システム 設定		前のデータへ戻る/メニュー設定終了
		[上]ボタン
		選択/確認
		[下]ボタン
		利用不可

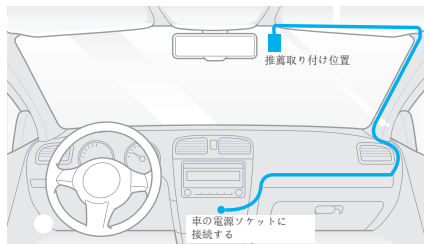
取り付け方法

■ フロントカメラを取り付ける

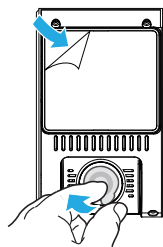
- 1) GPSモジュール（マウントベース）をマウンティングレールに合わせてスライドさせます。カチッという音が聞こえるまでスライドさせます。



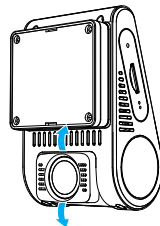
- 2) 取り付け位置を仮決めし、フロントガラスの汚れ、脂分をしっかりと落とします。



- 3) ドライバーの視界を妨げないよう、必ずバックミラー裏側のガラス面に取り付けてください。
- 4) 粘着パッドとカメラレンズの保護フィルムをはがします。



- 5) 選択した場所にフロントカメラを固定します。
- 6) レンズの向きを調整する
ディスプレイの映像を確認しながら、レンズの角度を調整します。

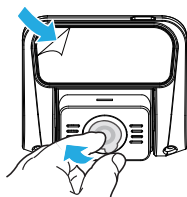


■ リアカメラの取り付け

- 1) 設置場所を決める

デフォグガーの熱線に取り付けしないで下さい。落下や破損の原因となります。後方全体を撮影できる位置に取り付けてください。

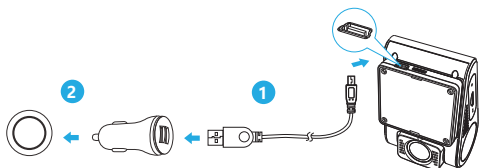
- 2) リアガラスの取り付け面を乾いた布で拭いてください。



- 3) 粘着パッドとカメラレンズの保護フィルムをはがします。
- 4) リアカメラを貼り付けしっかりと固定します。

■ 電源ケーブルとリアケーブルの接続

1) 電源接続



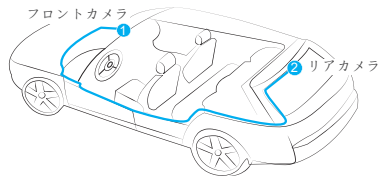
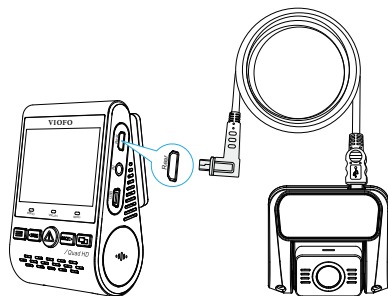
車両の12 V/24 V電源ソケットにカーチャージャーを差し込みます。次にUSBケーブルのプラグをカメラのUSB端子に差し込みます。

注意: GPSモジュールは本体への電源供給にのみ使用できます。

2) リアカメラを接続する

製品の電源を切り、リアカメラケーブルをフロントカメラ（本体）に接続します。

ケーブルの接続は下図を参照してください。運転の妨げにならない位置に配線してください。クリップ等を使用すると、リアケーブルをしっかりと固定できます。

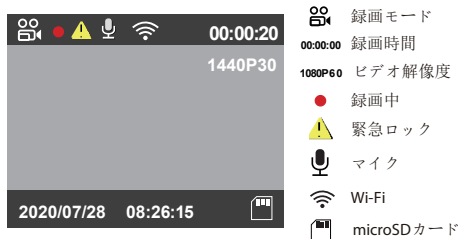


注意

1. 運転者の視界を妨げたり、運転の安全性を妨げたりする場所にカメラを設置しないでください。
2. バックミラーの近くに取り付けることで録画の状態を確認しやすくなります。
3. 雨天時でも良い状態で録画できるよう、フロントワイパーの可動範囲に製品を取り付けてください。
4. レコーダーをエアバッグパネルの上または近くに設置しないでください。思わぬけがの原因となります。
5. 車両のリアガラスにサンシェードを取り付けている場合は、サンシェードと干渉しない位置に取り付けてください。


警告： カメラやケーブルをエアバッグパネルの近くやエアバッグの動作範囲内に取り付けしないでください。製造者は、エアバッグの展開によって引き起こされたいかなる怪我または死亡に対しても責任を負いません。

画面アイコンの説明



基本的な使い方

■ 電源オン/オフ

1. 本機が電源に接続された状態でエンジンをかけると本機の電源が入り、自動で録画を開始します。
2. エンジンを切ったり、車の電源を切ったりすると、レコーダーは録画を停止してオフになります。
3. [] ボタンを長押しで、本機の電源をオンまたはオフにします。

■ ループ録画

microSDカードを挿入した状態で本機の電源がオンになると、ループ録画を設定の時間で自動で開始します。

1. 録画時間(ファイル生成時間)を「オフ/1/2/3/5/10」分から選択できます。
2. 録画メディアの容量がいっぱいになると、古いファイルから上書きして録画を続けます。
3. ループ録画ファイルは下記のフォルダに保存されます。
 \ DCIM \ MOVIEフォルダ

注意： eMMCストレージ内蔵モデルでは、microSDカードをセットしなくても録画が可能です。eMMCストレージは、microSDカードに障害が発生したときにのみ一時的に記録するように設計されています。常時録画用ではありませんのでご注意ください。記録メディアが挿入されていない場合、ピープ音でお知らせします。

■ 緊急録画

1. 自動緊急録画

録画中に衝撃を感知すると、自動で録画しているファイルをロックします。ロックされたファイルは上書きされません。

2. 手動緊急録画

録画中に[△]ボタンを押すと、現在録画中のファイルがロックされます。ロックされると、ファイルは上書きされません。

注意:

衝撃感度はシステム設定 → 「衝撃感度」オプションで調整します。ロックされたファイルはSDカードに保存されます:

DCIM \ Movie \ R0。

■ ビデオ再生

1. スタンバイモード（録画されていない状態）で、[△]ボタンを押してプレイリストに入ります。
2. 矢印キー◀[REC MIC]▶を使って希望のビデオを選択し、[△]ボタンを押して再生します。
3. [≡]ボタンを押して終了します。

注意:

1. フロントカメラとリアカメラのビデオファイルは別々に保存されます。
2. フロントカメラのファイル名は年_月_日_***F、リアカメラのファイル名は年_月_日_***Rです。
3. フロントカメラとリアカメラのデフォルトのビデオ解像度は1440P @ 30fps+1080P @ 30fpsです。
4. リアカメラを取り外すと、リアカメラの解像度は自動で1440P @ 30fpsに切り替わります。

■ 動体検知

動体検知機能とは、映像に動きがあった場合に自動的に録画を開始する機能です。

動体検知後、60秒間動きを検知しなかった場合、録画を停止し動体検知モードに入ります。

注意:

動体検知機能は駐車監視にのみ使用してください。運転中に「動体検知」機能をオンにすると、正常に録画できない場合があります。

■ コンピュータでビデオを再生する

1. 付属のミニUSBケーブルを使って、レコーダーをコンピューターに接続します。
2. レコーダーの電源がオンになり、画面に「SDカードリーダーモード」を表示されます。
3. コンピューターが「リムーバブルディスク」を検出したらフォルダを開きます。
4. DCIMフォルダは2つのフォルダがあります。
 - Movie（ループ録画動画ファイル）以下のサブフォルダが含まれています: RO（保護/ロックしたビデオファイル）
 - Photo（写真）
5. コンピューターに必要なファイルをコピーします。

■ テレビでビデオを再生する

カメラには、モニターやTVなどの外部ディスプレイを接続するためのAV出力端子があります。本製品には、接続用ケーブル(3.5mmオス-3 RCA)は付属していません。

■ 画像モード

A129は4つのリアルタイムプレビューモードを搭載しています。モードを切替えるには [WI-FI] ボタンを押します。本機のWi-Fiと接続することで、お手持ちの機器のVIOFOアプリでのプレビューが可能になります。

注意: 画像 (PIP) モードは、リアカメラが取り付けられている場合にのみ使用可能です。

モード	説明
フロント+リア	フロントとリアの映像を表示します。リアカメラの映像は左上に表示されます。
リア+フロント	フロントとリアの映像を表示します。フロントカメラの映像は左上に表示されます。
フロントのみ	フロントカメラの映像のみを表示
リアのみ	リアカメラの映像のみを表示

マイクをオン/オフにする

[MIC▶] ボタンを押して、マイク機能をオンまたはオフにします。

■ ファームウェアの更新

弊社ホームページよりファームウェアソフトを入手できます。MicroSDカードにダウンロードし、本機に挿入後電源を入れることで、本製品のアップデートを行うことができます。
(<https://viofo.jp/a129-plus-duo-product-support/>)

注意:

- ・ファームウェアを更新する際、レコーダーの電源は切らないでください。更新に失敗し、起動できなくなる場合があります。

システム設定

カメラボタンまたはVIOFOアプリでシステム設定ができます。システム設定する前、録画をオフしてください。

- 録画解像度：録画したビデオの解像度を設定します。

本機だけの解像度： 2560 * 1440P 60fps, 2560 * 1440P 30fps,
1920*1080P 60fps, 1920*1080P 30fps

フロント+リアカメラ解像度： 2560 * 1440P 30fps + 1920 * 1080P
30fps, 1920 * 1080P 60fps + 1920 * 1080P 30fps

- ビットレート：ビデオのビットレートを設定できます。高ビットレートに設定すると、動きの速いシーンやコントラスト強いシーンでの画質と滑らかさが向上します。高ビットレート設定では保存できる時間が短くなる可能性があります。低ビットレート設定は、容量を節約し長時間の録画が可能になります。
- カメラ画面切り替え：フロントカメラ/リアカメラ/画像モード1 /画像モード2。

- ループ録画：オフ/1/2/3/5/10分。

本機の電源をオンにすると、本機は自動的にループ録画を開始します。デフォルト設定は3分です。記録メディアがいっぱいになると、最も古いファイルから自動で上書きし録画を続けます。

- WDR（ハイダイナミックレンジ）：ダイナミックレンジは、画像の最も明るい部分から最も暗い部分までの階調を表します。

HDR画像は、従来よりも広い範囲の階調を記録することができます。

す。

- 露出：映像の明るさ（光量調節）を調節できます。露出値は-2.0から+2.0の範囲です。フロントカメラとリアカメラの露出値は別々に調整できます。デフォルト設定は0.0です。

- 駐車モード：本機では3つの駐車録画モードを設定できます。

① 自動イベント検出

このモードでは、モニターの監視範囲内で動いている物体を検知すると自動的に録画を開始します。

② タイムラプス録画

タイムラプス録画は1/2/3/5/10/15 fpsの低いフレームでビデオを録画し、このモードでは音声は記録しません。

③ 低ビットレート録画

フロントとリアカメラは4MB/sの低ビットレートでビデオを録画します。通常の録画モードと比較してより長時間の録画が保存できます。

注意: 駐車監視機能は長時間電力を供給する必要があります。



バッテリー上がりを避けるため、弊社のVIOFO HK3 ACC降圧ケーブルをご使用ください。

- 駐車監視遅延：駐車監視モードに入る時間を設定します。

- 駐車録画時間：駐車録画時間を設定します。

「オフ」は電圧を保護値より低いまでレコーダーを録画続させることを表示します。

「1時間」は駐車モードで1時間後にレコーダーの電源が切れ、録画が行われないことを表示します。

- インターバル撮影：低フレームレートで録画します。容量を節約し、長時間の再生にかかる時間を短縮できます。デフォルト設定はオフです。
- 動体検知：オンに設定した状態で、レコーダーの正面に動きがあった場合、自動的に録画を開始します。動体検知後、60秒間動きを検知しなかった場合、録画を停止し動体検知モードに入ります。新たに動作を検出すると、レコーダーは再度録画を開始します。
- GPS：GPS機能のオン/オフを切り替えます。GPSユニットで車速と位置情報を記録するために使用されます。オフ設定時は車両の速度と位置を記録せず、日時を自動的に同期しません。コンピューターでGPS情報を確認するには「Dashcam Viewer」プレーヤーを使用してください。
- 速度単位：キロメートル/時 (KMH) とマイル/時 (MPH)。
- 衝撃感度 (G-sensor)：Gセンサーは衝撃力を測定し、ループ録画の対象にならないようにファイルが自動的にロックされます。低く設定することをお勧めします。
- Wi-Fi：オン/オフを設定します。[] ボタンを3-5秒長押ししてください。
- 日付表示：録画したビデオに時刻と日付を表示します。
- GPS情報スタンプ：映像にGPS情報を表示します。
- モデル情報スタンプ：映像にカメラモデルを表示します。
- 録画音声：マイクのオン/オフを切り替えます。録音中にマイクボタン [] を押してマイクのオン/オフ変更ができます。
- スクリーンセーバー：操作が行われないと3分後に画面を消灯します。スクリーンセーバーの開始時間はメニュー画面の設定から変更できます。

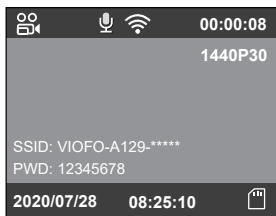
- ブート遅延：電源を入れてから起動する際に遅延起動を行います。遅延時間は5秒と10秒から設定できます。
- 日/時刻：システムの日付/時刻を設定します。
- タイムゾーン：現在のエリアタイムゾーンを設定します。(日本GMT+9:00)

注意：サマータイムは手動調整が必要です。

- 言語：各種言語に変更可能です。(英語、中国語、フランス語、日本語など)。
 - 電子音：ボタンの操作音と本機の起動音をオンまたはオフにします。
 - フリッカー：地域の使用電圧に応じて周波数を調整してください。(東日本50Hz / 西日本60Hz)
 - 画像回転：オンにすると本体の画面表示と録画ファイルの映像が180度回転します。フロントカメラとリアカメラの映像の反転も可能です。
 - リアカメラの画像：リアカメラミラーは、リアカメラの画像を実際の見た目とは逆に表示および記録します。設定のオン/オフはこの項目から行います。
 - フォーマット：microSDカードのすべてのデータを削除します。
- 注意：カードをフォーマットするとすべての情報が削除され、復元することはできません。重要なファイルのはフォーマットの前に必ずバックアップしてください。
- フォーマット警告：フォーマット警告通知の間隔を設定します。
 - デフォルト設定：デバイスを出荷時設定に復元します。
 - ナンバープレート：録画した映像に事前に登録した車両のナンバーを表示します。

スマホのレビュー

VIOFOアプリを使用すると、レコーダーの映像をスマートフォンから確認できます。本体内の各種パラメータの設定も可能です。Wi-Fiがオンになっている場合、レコーダーはAPPでのみ設定の変更を行うことができます。本体では設定の変更することができませんのでご注意ください。システム設定でWi-Fiをオンまたは [] ボタンを長押しします。Wi-Fiがオンになると、Wi-Fiアイコンと初期パスワードが画面に表示されます。



スマホでレコーダーを接続する

- Android携帯でGoogleストアまたはiPhoneでApp Storeを開きます。



- VIOFO APPをダウンロードしてインストールします。
- VIOFO APPを起動します。
- システム設定でWi-Fiをオンまたは [] ボタンを長押しします。
- アプリのヒントに従ってレコーダーを接続してください。

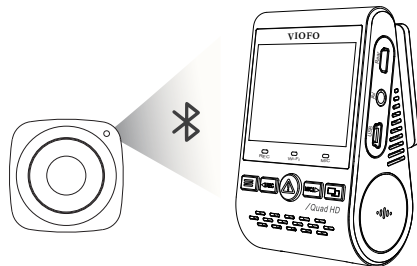
別売りオプションの取付

■ Bluetoothリモコン

ハンドルなどの操作しやすい場所にBluetoothリモートコントロール（別売）を取り付けます。リモコンのボタンを押すと、カメラは現在のビデオファイルをロックしてビデオスナップショットを撮ります。

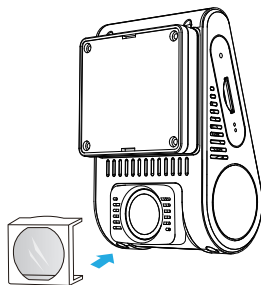
ドライブレコーダーとのペアリング

- レコーダーを電源に接続してオンにします
- リモコンのボタンを3秒以上押したまま、赤いライトが点滅するのを待ちます。
- ペアリングが成功すると、リモコンのLEDインジケータが青色に変わります。



■ CPL

CPL（円形偏光レンズ）を使用すると、窓ガラスや路面からの乱反射や写り込みを減らし、見やすさをアップさせます。偏光サングラスと同じような機能を持たせることで、自然で美しい映像を手軽に実現します。



保証規約

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

1. お買い上げ日から1年間の保証期間内に、取扱説明書に従った正常な使用方法で故障した場合にのみ、本書の規定に基づき無償修理もしくは交換サービスを提供させていただきます。修理や交換により代替え品をご提供の場合、お送りいただいた製品は特別の申し出がない限り当社の所有となります。
2. 保証期間内であっても次のような場合には有償での修理となります。

- 取扱説明書、その他の注意書きに従った使用がなされなかった場合。
- 当社の許可なく行われた不正な修理や改造による故障または破損。
- お買い上げ後の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または破損。
- 火災、地震、風水害、およびその他の天災地変による故障または破損。
- 保証書の提示がないとき。
- 消耗品（バッテリーなど）の交換の場合。
- お買い上げいただいたご本人様でない場合（譲渡など）

3. 本製品のご使用または故障により生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した費用）、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いません。
4. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
5. 保証期間経過後の修理などについてご不明の場合はお買い上げの販売店、またはカスタマーサポートにお問い合わせください。

本書は著作権法上の保護を受けています。当社の書面による特別の許可を得ずして本書の全部または一部を印刷物のかたちであれ電子的かたちであれ、複製・転載・貸借・翻訳することを禁じます。いかなるかたちであっても商用利用を禁じます。